



黒石地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【黒石地区の農用地等面積】 345.8 ha

うち 【田】 245.8 ha 【畑】 87 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 286.3 ha)

- ・ 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 26.3ha
- ・ 田原地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 88.3 ha
- ・ 主な生産品目：水稲・大豆・リンゴなど

(令和7年8月 26 日現在)

地域農業の課題

―【生産基盤の脆弱性】

― 圃場・道路

- └ 中山間部で圃場整備が未実施(小区画・狭小道路)
(内堀、鵜ノ木、長根、鶴城、正法寺、小黒石)

― 水利

- └ 山水利用で水量が不安定(多すぎる・枯渇する)
(内堀、鵜ノ木、小黒石)

- └ 沢が枯れ、水利の状態が良くない(長根、鶴城)

- └ ポンプの維持コスト(燃料・維持費)が高い(正法寺)

― 災害・土地条件

- └ 河川の洪水による浸水被害(内堀、鵜ノ木、二渡)
└ ぬかるむ、または水持ちの悪い水田から耕作放棄地

― 作業負担

- └ 急斜面の草刈りが大変(内堀、鵜ノ木)

―【担い手・労働力不足】

- └ 後継者不在(内堀、鵜ノ木、長根、鶴城、正法寺、小黒石)

- └ 労働人口の急激な減少と、将来の営農の方向性が不在(高清水)

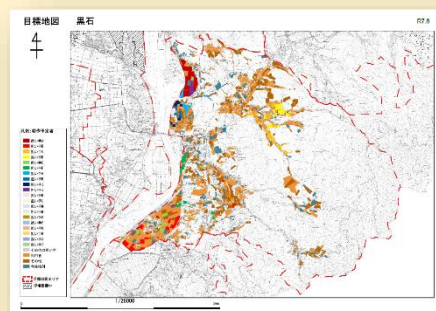
―【鳥獣害の深刻化】

- └ 熊、シカ、イノシシ、ハクビシン、てんなどが出没(内堀、鵜ノ木、長根、鶴城、二渡、正法寺、小黒石)

―【営農上の課題】

- └ 主要作物の水稲以外、土地利用型作物の作付けや効率化が困難(内堀、鵜ノ木、長根、鶴城、正法寺、小黒石)

黒石地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事ありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

―【営農の継続・農地維持】

- | ― 現状の担い手による営農継続
- | | ― 個々でできる限り農業を継続していく(内堀、鵜ノ木)
- | | ↳ 現状の担い手が耕作を続けることで維持(後継者不在のため)(長根、鶴城、正法寺、小黑石)
- | ↳ 稲作中心の農業を継続(ただし10年後の見通しは不透明)(長根、鶴城、正法寺、小黑石)

―【連携・協業の推進】

- | ― 地域内外との連携
- | | ― 外部組織への作業委託など近隣地域と連携(内堀、鵜ノ木)
- | | ↳ 地区外への作業委託による農地維持(二渡)
- | ↳ 地域内での共同活動
- | ↳ 共同保全活動や農道・水路の草刈りに取り組む(二渡)

―【担い手の確保・育成】

- | ↳ 担い手確保のための取組みを推進していく(長根、鶴城、小黑石)

―【スマート農業の導入と効率化】

- | ↳ ドローン、GPS 付き機械、ラジコン草刈機などを共同購入し、効率化を目指す(二渡)

―【鳥獣害対策の強化】

- | ↳ 電気柵やワイヤーメッシュなどを設置(二渡)

―【将来を見据えた計画策定】

- | ↳ 人口データ等に基づき話し合いを継続し、将来のありたい姿を模索する(高清水)



このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しくこともできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→
「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで右記 QR コードを読み込む

■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室(Tel0197-34-2371)

